区分29	専門分野 病態学	授業科目名	病態解析学演習	単位数	1単位 （30時間）
開講時期	3年　前期・後期	担当教員	藤田　修一	担当教員の実務経験	有・無

◆実務経験の内容
長崎大学熱帯医学研究所で病理解剖、長崎大学病院で病理組織診断・細胞診の実務経験がある。

◆授業の目的・目標
病態解析学（病態学／臨床検査医学総論）は医療分野での専門知識と技術を習得するために必要な、医学の基礎を学ぶ科目で、臨床検査により病態を解析し、診断・治療方針の決定、経過の観察、予後判定に寄与する臨床医学である。授業では疾患の原因や成り立ちを講義し、これに基づいて、検査の意義を理解し、検査結果を解釈できることを目的とする。

◆授業の概要・授業方針
授業では臓器別・原因別に疾患の病態を概説し、対応する検査法や、その意義と結果の解釈を解説する。糖尿病や膠原病のように多数の臓器にわたって異常をきたす疾患も多いので留意すること。本授業は国家試験の対策としての側面もあるため、既出の国家試験問題に即して授業を進める。

◆テキスト・参考資料等
・指定の国家試験問題集
・最新臨床検査学講座　病態学／臨床検査医学総論（奈良信雄　他編　医歯薬出版）

◆成績評価の方法
卒業認定試験

授業計画		チェック欄
第1回	序論、病気の症状と検査	
第2回	循環器疾患	
第3回	呼吸器疾患	
第4回	消化器疾患	
第5回	肝・胆・膵疾患	
第6回	血液・造血器疾患	
第7回	内分泌疾患	
第8回	腎・尿路疾患	
第9回	神経・運動器疾患	
第10回	感染症	
第11回	血液検査の異常	
第12回	体液・電解質・酸−塩基平衡の異常	
第13回	免疫異常	
第14回	代謝・栄養障害	
第15回	染色体・遺伝子の異常、悪性腫瘍の検査	